

垂井町への提案書

平成17年7月26日

垂井町行財政改革住民ワークショップ
参加者一同

テーマ 防災

時間区分	役割区分	NO	項目	件数	備考
短期	公助	1	治山・治水対策は現状を調査することが一番です	2	
		2	地域におけるCo2の削減目標を示してほしい		
	3	街灯は太陽光と風力で省エネをはかる。ただし、コストの計算をすること			
	4	支川ごとの詳細な洪水ハザードマップ作成と公開			
	5	運用規則の制定と説明			
	6	防災：広報、説明者派遣で教育(資機材の使用方法、補修法)			
	協働	1	危険個所のハザードマップをつくるために、調査を行う		
		2	災害時の避難地の明示		
		3	非常食等の備蓄(個人、町とも)		
		4	防災組織づくり		
		5	町内森林の森林カルテ作成(住民、行政、企業の協働)		
		6	一戸建て中心の住宅地への消火器の配備		
		7	山道の整備		
		8	水路の草刈、土砂の取り除き		
		9	防災倉庫、施設の用法徹底習得		
中期	公助	1	災害の実態に基づき、対策優先順位をつける		
		2	植林管理		
	3	洪水防止に適した植林			
	4	水路の整備			
	協働	1	町内を総点検し、対策の検討を進める(行政、専門家、住民)		
		2	Co2削減のため協働で取り組む		
		3	ダム、堤防の限界に関する説明、情報開示		
		4	住民、行政協働による一体化した川づくり		
		5	間伐材を活用した砂防ダム作り		
		6	人災天災の予防教育		
		7	3日分の水、食糧確保(居住者用)		
中長期	公助	1	実際の対策として、土木に関することや、住民の意識改革などをすすめる		
	協働	1	原発事故対策 ヨウ化カリウムを準備する		
		2	土石流対策(急傾斜地)		
		3	安心なまちづくりのため山に植樹する(農産物等)		
		4	避難個所の増設。避難場所の看板をもっとわかりやすく(他所の人からもよくわかるように)		
		5	自主・防災組織の設置		
		6	防災意識の向上(各自治体単位)		
		7	防災組織の確立(全自治会に)		
		8	天災に対する対策		
		9	安心の基本は危機管理		
		10	道路、橋、川等の防災を長期的に実行する責任あり		

テーマ 防犯

時間区分	役割区分	NO	項目	件数	備考
短期	公助	1	防犯:郵便局配達員に目配り依頼		
		2	防犯:警察のノウハウを頂く		
	協働	1	町内にいる不審者発見		
		2	不審者情報、危険情報の町内展開制度		
	協働	1	身近に発生した事故犯罪情報の掲示		
		2	不審者・不審車等の通報、体制づくり(連絡網)		
		3	夜の町を明るく(電灯)することだけが安全にならない		

テーマ 交通安全

時間区分	役割区分	NO	項目	件数	備考
短期	公助	1	町のバスが小回りできるように、時間は住民にアンケートを取り決める		
		2	垂井駅北側の一方通行化と段差なし歩道の整備		
		3	自転車道路の整備		
4		通学路の除雪			
5		交通安全:警察OBにボランティアで注意してもらう			
	協働	1	短時間違法駐車追放のための啓発		
2		信号機に右折の矢印のマークを増やして欲しい			
3		既存のカーブミラー、防犯燈のチェックと修繕			
中期	公助	1	垂井駅南北通行のバリアフリー化(エレベーター設置等)		
		2	自動車中心道路と歩行者、自転車中心道路の峻別		
	公助	1	老人にやさしい路づくり		
		協働	1	二輪車道を作る(強風時の安全確保)	
	2		子供達の通学路を学童と共に "ひやっとマップ"		
	3		交差点の十・Tの印を小さい所にもつける		
	4		交通信号燈の見直し(自治会でする)		
	5		交通事故対策 危険ポイントマップの作成配布		
	6		定期的に交通指導、整理		

テーマ 安心・まちづくり

時間区分	役割区分	NO	項目	件数	備考
短期	協働	1	外国人労働者のマナー改善		
中期	公助	1	ゴミのリサイクル・生ゴミの堆肥化などの方法を調査研究する		
	協働	1	安心安全の食品作り		
		2	老人達が気軽に集まり一日が過ごせる集会所づくり		
		3	将来を担う子供たちの教育のあり方		
		4	民介助支援		
		5	町が活気づく方法を考える		
		6	安心には地域ぐるみのコミュニティーが必要、気楽に集まる組織が必要		

テーマ 行政

時間区分	役割区分	NO	項目	件数	備考
短期	公助	1	補助金をゼロから見直す	2	1
		2	行政評価(行政効果)の実施のための施設を作って欲しい		
		3	JR垂井の増発着		
		4	大型店の生き残り策に助成をして欲しい		
		5	役場等の事務業務簡素化を図る		
		6	月度配布資料の発送方法見直し 役場は町のサービス業です。 まずテスト的に土、日各半日実施して欲しい		
		7	公的委員会 人選は一般から 各課の応援体制の確立(急な仕事、忙しい時は動員体制をとる)		
		8	各種審議会は、仕事の内容(委員)の総点検をする 町報に工事件名、落札価格と予定価格(追加)の記載		
		9	財政再建計画(10年計画、年度別要改善額)の明示		
		10	緊迫感のある計画作りの前提(結果の公表)		
		11	ワークショップの内容に対し町の応答が欲しい		
		12	第三次行政改革大綱の総括 行政は継続している。その都度ゼロスタートではムダが大きい		
		13	ワークショップ終了時に回答と次回用メモを配布して、郵送案内不要		
		14	年度末余剰額(予算額 - 実施額=余剰額)を表彰		
		15	工事は同じ場所を毎回繰り返さない		
		16	使用頻度の少ない町有建物は更地で処分。(民間へ公募、入札)		
		17	金額の小さい工事(土木等)を優先する(歩行者通路を優先) 町発行の全ての書類から「カタカナ」を全廃する		
		18	行政部門の連携を図る		
		19	行政発送文書は節約する		
		20	予算編成過程を公開し、住民の意見を募る		
		21	公民館活動の公費をアウトカムの視点で見直す 役場全体の無駄を省く(公用車廃止、低公害車共用)		
		22	先ず即決できることの実行		
		23	プロジェクトチームの情報を公開する		
		24	職員の意識改革。権限委譲。「担当外はわからない」では困る)		
		25	仕事に対する責任制度確認(温泉問題等)		
		26	議員は緑風会とか何とか言わずに、住民のためのことを考えてほしい		
		27	緑風会のような組織は止めて欲しい		
		28	定数減に合わせ、直に選挙をすべきだ		
		29	議員、職員の研修旅行には効果があるのか? 単なる旅行とならないように、研修報告書を提出して欲しい		
		30	議員・委員会をケーブルテレビで中継する		
		31	住民投票条例をつくる		
		32	町職員の待遇を見直す		
		33	町長、役職員の給与20%カット		
		34	部係長の給与10%カット		
		35	一般職員の給与5%カット。残業、休日出勤手当なし(代休あり)		
		36	出勤手当(交通費 + 食事代)		
		37	公用車(町長・議長)の廃止をする		
		38	職務昇格試験制度の導入を図る		
		39	職務評価制度の導入を図る		
		40	役職が多いので組織の見直しを図る		

時間区分	役割区分	NO	項目	件数	備考
短期	公助	41	通勤手当の見直し(近くの方は歩くか自転車、マイカーは遠い人のみ、他の人は公共交通機関を利用)	3	
		42	扶養手当、住居手当の見直しを図る		
		43	助役が収入役を兼務して一人削減する		
		44	町長専用車とタクシーの費用対比	2	
		45	町組織の助役、収入役廃止		
		46	町長・議長の公用車廃止		
		47	議会・副議長・議員の給与は一律10%カット		
		48	議員定数10名とする		
		49	町会議長の公用車廃止		
		50	情報公開を徹底する		
		51	町民へのアンケートの内容について		
		52	町プロジェクトの中間検討内容		
		53	行財政改革大綱の進行状況		
		54	ワークショップの検討事項の現況(内容がどのように進行しているか)		
		55	各地区公民館、集会所、体育館等町有建物の稼働率を毎月町報に掲載する(有効活用のため)		
		56	子育て支援対策税(20歳以上)をつくり、それを子育て支援に充てる		
		57	ヘリコプターによる農薬空中散布を廃止して欲しい		
短期	協働	1	朝倉公園に垂井町のPR広告(看板)設置 [新幹線から見えるように]		
		2	行政の現状を知る機会作り		
		3	外部監査制度の導入を図る(資格者、有識者、民間人による)		
		4	補助金については、住民と検討委員会をつくり見直しする		
		5	護岸工事周辺が寂しい 植樹を		
		6	水道料金値上げで山に植林		
		7	ゴミの出し方を自治会で指導		
		8	タレイピアは無くしたい。やるならボランティアでやってほしい		
		9	モーニング券の発行と喫茶店にご意見箱設置		
		10	地域自治組織を立ち上げ、予算委譲		
		11	人数を基準にした老人会助成はやめる		
		12	住民税の1%は支援する団体、ボランティアに出したい		
		13	行政、住民協働で“まちづくり協議会”を作る		
		14	返済不要費用の範囲で予算編成 補助金の(約3億円)全項目削減。必要なものは予算化する		
		15	町職員の給与20%アップで人材確保、組織、仕事の合理化		
		16	今回のワークショップなどに、是非、議員の方は出席して欲しい		
		17	町民、議員のコミュニケーションを良くする 町会議員の質を変える努力をする		

1 ショッピングセンター内で土日、祝日に、窓口の設置をしてほしい

時間区分	役割区分	NO	項目	件数	備考
中期	公助	1	インターネットでの町の特産品の紹介、販売		2
		2	町役場発信方法の見直し		
		3	天下り(受け入れ)の禁止(職員がやる気をなくす)		
		4	年功序列の廃止		
		5	人事評価の適正化		
		6	昇給昇格の公正化		
		7	事務ミスの減少(後ろ向きの仕事)		
		8	行政サービスの向上		
		9	町インターネットを活用し、近隣公民館ですませる		
		10	公共工事の合理化 例1:国、県、町同時施工 例2:同一業者発注で工事費減		
		11	町議員の削減		
		12	役場職員の給与を第三者的機関で査定させる		
		13	広報の紙質は新聞紙並で充分		
		14	町債は10年返済で計画立案		
		15	費用対効果の数値化を設定(効果値)		
		16	フレックスタイムに制度導入(給与不変)		
		17	一般労働者に対応できる時間帯		
		18	“地域自治組織”で予算編成を行う		
		19	議会のケーブルテレビの放映を図る		
	協働	1	老人が安心して暮らせる環境づくり		
		2	老人介護NPOづくり		
		3	高齢者が生きがいの場として「働く場」づくりをすすめる		
		4	年間土木建設工事について住民アンケートの実施(安全優先)		
		5	公共工事の住民参加による効率化(河川敷維持など)		
		6	補助金の見直し 行政政策を公、共、民と私が出来ることに分類する		
		7	行政効率目標「5億円経費削減」明示		
		8	町民との懇談会に行政も加わって定期的に行う		
		9	町議と町民との懇談会の義務化		
		10	町議会、委員会のCATV、インターネット放映		
		11	行政、議会、住民協議で“まちづくり”条例をつくる		
		12	日本初の住民参加予算編成実現(垂井を全国にアピール) 議員を頼りにしない住民意識		
中長期	公助	1	埋もれた技術者を行政に活用		
		2	女性活用		
		3	企業誘致で雇用増、財源確保		
		4	福祉専修校誘致で財源確保		
		5	道路工事の一括、同時施工		
		6	学校特区創設		
		7	出産、子育て資金の充実		
		8	0歳児保育に補助金		
		9	退職者保育サポートチーム結成		
		10	ITネットで住民へ連絡		
		11	現在の手紙による通信は経費が高いためITネットを確立する (住民へのIT講習の拡充と学校と役場のネットを使用する)		
		12	ネット広報ができるようにする		
		13	役場職員の雇用方法の多様化(パート、シルバー)		
	協働	1	効果値確認組織(公募)結成		

2 移動の手間を省くために各公民館でも手続きが出来るように

テーマ まちづくり

時間区分	役割区分	NO	項目	件数	備考
短期	公助	1	町長、行政職員と住民との会話活動の促進	2	
		2	住民と行政・議会との定期懇談会(地区別)		
	3	税の使い途を納税者が選択できる制度			
	4	自治会等单位で行政、安全、治安等の勉強会等を図る			
	5	巡回バスの時刻表に土地、名所、史跡の絵を入れる			
	6	駅の史跡看板の下にバス時刻表を作る(音声も必要)			
	7	スポーツ少年団の指導者の資質向上			
	8	公衆トイレの増設			
	9	若い人たちがまちづくりに参加し、関心を持つ方法を考える			
	10	まちづくり協議会の立ち上げ			
	11	御所の交差点の拡幅工事をしてほしい			
	12	垂井駅～桜林鳥居～南宮神社までの参道(歩道)整備			
	13	「道の駅」の早急な立ち上げ、自由に特産品の開発販売			
	14	観光開発歴史と文化を中心に据える			
	協働	1	商店街の空き店舗利用検討		
		2	巡回バス車内テープで名所、史跡、商店街の案内をする		
		3	観光地の整備、ネットワーク化をすすめ近隣市町との連携を図る (年間100万人の集客をめざす)		
		4	健康増進施策の拠点とするため、水中運動施設をつくる (保健指導員200人を養成し、老人医療の30%の削減をめざす)		
		5	農産物等の安定供給体制をはじめるために、プロジェクト創設		
		6	農業の自立化をめざし中京圏、京阪神への販売をする		
		7	新水耕栽培の無農薬をすすめるため調査研究をする		
		8	町内電力は、風力発電(8基)で充分。調査研究を進めたい		
		9	中山道・垂井宿のまちづくり条例をつくって整備する		
		10	観光マップ作成。地域、個別を統合して経費削減		
中期	公助	1	国道、県道沿いの市街化と雑種地の拡大を図る		
		2	農地制度(委員会)の簡素化、農地の分割化、宅地売買の自由化		
	3	ベッタウンの推進をすすめる			
	4	足湯のできる町通りにしたい			
	5	町中心の車乗り入れ禁止。歩行者天国			
	6	相川河川敷に駐車場設置			
	協働	1	林道の入口にゲートをつくり、関係者以外の立ち入りを禁止して サイクリング道路の整備		
		2	歴史・遺跡の整備		
		3	河川上流を整備して水芭蕉などの観賞できる花を植える		
		4	大河ドラマ誘致計画立案(金はかけない)		
中長期	公助	1	休耕田を企業誘致指定の地域として活用する		
		2	税金面で優遇措置制度をもうける		
	3	工場誘致による人口増、町財源の確保。働き口の確保			
	協働	1	JRの電車増発 JRの名古屋方面の直送、快速の増発をするため、検討機関をもうける		
		2	大学キャンパスの誘致		
		3	自然を生かし、若者が集まる大学キャンパスの誘致を図る		
		4	落葉樹を増やして森林の見直しを図る		
		5	住みやすい魅力あるまちづくりで人口を誘致する 大河ドラマ誘致。岐阜県フィルムコミッション活用		

テーマ 健康・福祉

時間区分	役割区分	NO	項目	件数	備考
短期	公助	1	健康講座の定期開催(専門家による)	4	
		2	治療、介護の医療費に多額なお金をかけるのではなく、 予防医療、運動に重点をおき医療コストの削減を図る	4	
		3	高齢者祝金や物は不要、その分を充実した演芸会に使う	2	
		4	子育て補助金を第1子には1万円/月、第2子には2万円、 第3子には3万円	2	
		5	出産者への支援、祝い金など支給	2	
		6	各地区の公園を整備して老人が運動しやすくする	2	
		7	専門家による血液サラサラ度の定期健診かサラサラ計測器をおく	2	
		8	指導者の養成	2	
		9	健康促進のためにいろいろなことをして欲しい(生き生きサロンなど)		
		10	近郊の他町との温泉の共同利用を契約する(町のバスを利用する)		
		11	社会福祉協議会職員は他の市町村で勉強してきて欲しい		
		12	小児医療(8歳まで無料)		
		13	補助金ゼロペース(6割削減)		
		14	介護査定を公平にしてほしい		
		15	老人医療費の1割負担を69歳よりもっと早くしてほしい		
		16	各地域等で老人の健康促進の催しや行事を開いて欲しい		
		17	役場における男性の育児休暇取得の推進		
		18	健康度のチェック機能機関の設立		
		19	健康診断の内容(項目)の充実		
		20	ニーズへの対応を敏速にしてほしい		
		21	実態調査の実施		
		22	保健センターの利用		
		23	公民館スポーツ行事が健康増進よりも競技に偏っている、 社会教育課はもっと指導を		
		24	町民の自主的団体に便宜を与える(支援する)		
		25	介護保険料低減のため、サービス内容の見直し		
		26	介護認定を平等にする		
		27	町の社会福祉制度がわかりにくい 利用しやすくなるようパンフレットの作成、配布		
		28	民生委員、福祉委員の任期が長すぎる マンネリになっている人がいる		
		29	すこやか号の増発(コースをこまかく地域別にする)		
		30	風呂、温泉の早期設置		
		31	「禁煙」の表示を、全ての公共施設にはる(少ない印刷費で疾病予防)		

時間区分	役割区分	NO	項目	件数	備考
短期	協働	1	定期的に(健康づくり)歩け歩け運動を公民館単位で スポーツジム、ウォーキングデイ(年12回)	4	
		2	地域集会所サロンの充実した活用、 老人達が気軽に集い憩える場所としたい	2	
		3	学童保育の1万円/月は高すぎる		
		4	運動会の統一(町民・小学校運動会を共同開催に)		
		5	安心して子供がつかれない		
		6	老人の地域との共生(地域コミュニティの組織化)		
		7	老人と小学生とのふれあい活性化(校舎・体育館の共生)		
		8	医療施設、機関への投資効果の追求を公表してほしい		
		9	病院での薬多投与を抑制してほしい		
		10	救急車の有料化(公共サービスの公平化)		
		11	(独居)老人等の料理教室開催を多くしてほしい		
		12	男性の介護の勉強会		
		13	各年代に対応した食事づくり(運動・食事・リクリエーション)		
		14	若年からの男性自立のための講習などの実施		
		15	公民館の健康器具の活用		
		16	学童保育は全小学校校下ですすめる		
		17	早朝ラジオ体操の呼びかけ強化、年間実施する、記録紙、 インストラクター養成		
		18	各種スポーツ(散歩、グランドゴルフ)がここから始まり活性化		
		19	スポーツ参加表彰制度		
		20	町内バス運行見直し、早期に実施		
		21	禁煙、ガン予防などの話し合いの機会と場をつくる		
		22	老人会は禁煙しないので入りにくい		
		22	少子化委員会設立		
中期	公助	1	朝倉と北部にも水中ウォーキング場や浴場を設立する	3	
		2	健康管理館を併設して健康相談をする	2	
		3	町の具体的目標をつくる(成果指標など医療費低減)	2	
		4	例:寝たきり老人 05年 人を10年に 人		
		5	町内事業所における男性の育児休暇 取得の推進		
		6	タルイピア経営見直し(4年に1度)		
		7	垂井駅エレベーターなど健康増進バリアフリー化		
		8	保健所の有効な保健指導		
		9	保健増進のための費用は福祉介護費用からシフト		
		10	少子化対策税として20歳以上の人から 徴収制度を制定し、子育て費用に充てる		
		11	人間ドック補助金設立、節目の年齢のみ実施		
		12	健康診断のオプション増など各種の不安に応えられるシステムを用意する		
		13	町の福祉政策(ビジョン)を示して意見を募集する		

時間区分	役割区分	NO	項目	件数	備考
中期	協働	1	子育て支援NPO(時間終了後の保育実施)		
		2	バリアフリーマップの作成		
		3	車椅子で動けるまちづくりのワークショップ		
		4	健康ランニングコースの設置		
		5	女性の教育の徹底(育児・家事)		
		6	育児休暇の完全取得ができる職場の環境整備		
		7	「子持ち=パート労働」の図式をなくす(行政、企業、住民で)		
		8	5年ごとにドックを受けよう。基金は各自積み立てで		
		9	保育士の拡充により子育て環境づくりで一時保育の実施		
		10	町民参加の拠点施設を作り、福祉の充実を図る		
		11	障害者の駐車を無料にすべきである		
中長期	公助	1	厚生年金の見直し		
		2	町に健康福祉大学の誘致		
		3	10年後岐阜県1位をめざす、15年後 日本1位をめざす (岐阜県ヘルスプラン21に基づいて行う)		
		4	医療費、介護費を現状の1/2削減をめざす		
		5	地域に愛情をもてる教育		
		6	生まれる前から親業教育		
		7	少子化対策変わりすぎ(不信感がある)		
		8	出生率を増やすには過労になり易い労働環境の改善		
	協働	1	幼保育園等の統廃合、民間委託を少子化にともない見直すべき	2	
		2	長時間保育を	2	
		3	子育てには教育費がかかりすぎ。奨学金制度(行政、市民で出資)	2	
		4	在宅介護の推進		
		5	廃校活用、町立老人介護施設の設置 介護スタッフは老人クラブ員の経験を活用する等お互いに助け合う		
		6	歴史ある行事の保存と子供達参加		
		7	終末医療のあり方の検討		

テーマ 教育

時間区分	役割区分	NO	項目	件数	備考
短期	公助	1	高齢者のIT講習に中高生を組み入れる	3	
		2	青少年の心の教育(道徳教育)		
		3	児童や小学生にスペシャリスト教育		
		4	地域の人に小学校の授業で話をしてもらう	2	
		5	留守家庭学童保育の保育料の軽減		
		6	3世代をつなぐ子育て支援ネットワーク化		
		7	保育園給食は学校給食センターで一括		
		8	学校給食を民間委託		
		9	小学校高学年時に米、野菜づくり		
		10	任意団体、体育協会への助成金の廃止	2	
		11	各地区の公民館スポーツ教室等は受益者負担		
		12	公民館、集会所の統廃合		
		13	幼稚園から話せる英語教室の実地		
		14	放課後の学校開放で、ボランティアの大人と遊ぶ		
		15	学校体育施設運営管理受益者負担		
		16	不登校児童の相談はボランティアで		
		17	給食を地産地消とする		
		18	ボランティア養成講座による地域リーダーの発掘		
		19	地元の元教員が教師のサポーターとなる	1	
		20	合原小学校の教育方法を全校見習う		
		21	高齢者を講師とした地域特産物教育		
	協働	1	外国人と外国語を使った交流の促進		
		2	夏休みの工作の親子共同制作		
		3	親子料理教室(父親の料理)		
		4	夏休みの親子での昆虫採集		
		5	クラブ活動を通じた付き合い方の体得		
		6	老人訪問を通じて年寄りとの付き合い方を習得		
		7	キャンプで野外活動をし、自炊などの実施		
		8	ボランティア活動で親が手本を示す		
		9	読書教育の促進		
		10	神田孝平を知り、教育に生かす		
		11	寺子屋式教育の復活による人材育成		
中期	公助	1	中高校一貫英才教育の場づくり		
	協働	1	自治会単位で先生の担当を決め、郊外指導教育		
		2	教員定年を早め、退職者を非常勤講師採用		
		3	保育園の統廃合		
		4	駅の中に保育園をつくる		
中長期	公助	1	小学校の校長の任期を、最低5年にして欲しい	2	
		2	差別のない教育の実施		
		3	小学校の統合。各中学校下2校の統合		
		4	地域を越えた学区の改革		
		5	幼稚園を各小学校の中にして園長と校長兼務		
		6	大学キャンパスの誘致をする		

テーマ 文化

時間区分	役割区分	NO	項目	件数	備考
短期	公助	1	観光パンフレットの見直し	2	
		2	朝倉スポーツ公園拡大しすぎ		
		3	地区配分されるスポーツ施設に問題あり	2	
		4	公民館の利用がない土、日開放の廃止		
		5	町費による無料講座の廃止		
		6	勤労青少年ホームの講座は続けること		
		7	交流事業の派遣先はアジアの発展途上国へ		
		8	職員の出向で異業種経験交流をする		
		9	町長の香典を廃止し、新生児への祝い金へ		
		10	広報・有線放送・ケーブルテレビで町の時間を企画		
		11	文化大学講座は続けて欲しい		
		12	竹中半兵衛物語を小学校で演劇にして競演		
		13	カル化アセンターは利用者が少ないので、地域に分散する		
	協働	1	観光客にPRできる史跡標識の設置	2	
		2	小中学生に町内史跡めぐり教育		
		3	芭蕉の俳句のPR		
		4	岩手地区祭囃子のPR		
		5	朝倉運動公園事業の推進		
		6	小中学校で垂井を知るフィールドワークをする		
		7	垂井ピアで毎年テーマを変えてイベント		
		8	垂井ピアで芸術観賞をし、収入を図る		
		9	地区公民館の開館時間の延長		
		10	教育文化の町(クリーンな町のイメージを出す)		
		11	芸術団体に文化会館営業の委託		
		12	図書館の民間委託と開館時間延長		
		13	垂井ピアの広告の仕方が足りない		
		14	文化会館で中高年向け落語漫才の企画を		
		15	町政を勉強するためワークショップの常設をする		
中期	公助	1	文化会館のオンライン予約システムの導入		
		2	総合学習は廃止して、地元を受け皿をつくる		
	協働	1	椿山づくりで観光の促進		
中長期	公助	1	垂井-岩手-春日の山道整備		
		2	先生の質向上を目指して欲しい		
		3	先生の適性を1年毎にテストする		
		4	総合計画の策定496万を50%おし、パンフレットへ		
		5	町報の紙の質を落とし、ページ数を減少する		
		6	税徴収対策で人員増190万円民間委託へ		
		7	宮代の歴史資料館の建設		
	協働	1	里山を生かした環境村づくり		
2		相川河川敷の維持599万円をボランティアで半減			

テーマ 産業

時間区分	役割区分	NO	項目	票数	備考
短期	公助	1	農薬の空中散布の見直し	3	
		2	補助金の使途明細を情報公開してほしい		
		3	インターネット配信により町内発刊物のペーパーレス化		
		4	静脈産業の町内誘致		
		5	町内産木材の町内建築へ利用促進		
		6	地域の人が働ける産業の企業誘致		
	協働	1	ふれあい垂井ピアの見直し	3	
		2	町内巡回バスに観光名所案内テープを流す		
		3	全補助金の見直し		
		4	商工会の1,800万円の経費の使途が分からない		
		5	湧き水の保全と活用...ハリヨ保存		
		6	南宮山、北山の風力発電の調査		
		7	竹中半兵衛の館の再現		
		8	観光施設の充実		
		9	垂井・関ヶ原・養老・大垣と連携した観光促進		
		10	朝倉温泉を健康増進施設の拠点として活用		
		11	人口増加対策をすすめる		
12	企業・産業の環境問題について、環境問題活動グループと協働する				
13	D2撤退後の健全な再建				
14	地産地消ショップの常設(朝市の終日開設)				
15	朝市の野菜類の購入促進				
16	レンタルサイクルの導入とサイクルツアーマップの作成				
17	道の駅の協働開業(シルバー人材の収穫物)				
中期	公助	1	温泉を利用したりハビリ施設をつくる		
	協働	1	農産物の直売場と特産品の開発		
		2	薬草植物園をつくり、薬草特産品づくり		
		3	JR日守駅をつくる		
		4	JRの本数を増やし、企業誘致する		
中長期	公助	1	道の駅の創設...(短期にもあり)		
		2	南宮大社から朝倉公園をルート化し、観光開発する		
		3	東海環状自動車道西周りの早期開通を目指し、企業誘致する		
	協働	1	森林管理の充実で安全な飲料水の確保		
		2	池田町～関ヶ原町の林道を利用した観光開発と森林公園をつくる		

テーマ 環境

時間区分	役割区分	NO	項目	票数	備考	
短期	公助	1	集積場所の削減、統廃合	2		
		2	ゴミ袋料金の値上げ			
		3	ゴミ袋を配布し余ったゴミ袋の買上げ			
		4	クリーンセンターの受付時間を5時まで延長			
		5	粗大ゴミの有料化	2		
		6	レジ袋廃止の制度化、浮いたお金を福祉関係に寄付			
		7	ゴミ不法投棄に対する罰則強化			
		8	ヘリコプター農薬散布の廃止			
		9	ヘリコプターからラジコンヘリコプターへ切替する			
		10	環境デーの行事として焼却場の見学			
		11	環境条例(捨てさせない、減量化)をつくる			
		12	環境(水)をアピールした観光ツアー			
		13	間伐材を炭化して簡易水道での活用			
		14	役場駐車場の有料化と自転車通勤の促進			
		15	農業、林業、日常生活で使用している薬物を把握する			
		協働	1	ゴミ分別の徹底、細分化	2	
			2	ゴミ処理の炭化、スラブ化、発電へのプロジェクトの調査検討		
			3	ゴミ再利用リサイクルステーションの立ち上げ		
			4	生ゴミの肥料化、農地で利用	2	
			5	生ゴミ 堆肥工場 町内農地 給食・朝市 協力店 (垂井ブランド確立、食育)		
			6	ゴミ不法投棄防止のための町民の電話通報		
			7	ごみ減量の学習会の開催		
			8	産業廃棄物の不法投棄防止パトロール制度の導入		
			9	環境提案制度の創設(報酬制度・フィードバック)		
			10	NPOリサイクルセンターの創設		
			11	ダイオキシンの発生防止		
			12	環境デーの行事として山奥の不法投棄の確認		
			13	清掃活動を地域活動として定着させる		
			14	地域の清掃奉仕日を増やす		
		15	耕作放棄地での菜種作付 食用油 給油 廃油ディーゼル化			
		16	環境研究団体を立ち上げ普及活動をする			
		17	環境市民団体による環境チェック			
		18	休耕地のゴミ捨て対策の検討機関を設置			
		19	農業、林業、日常生活で使用している薬物を把握する			
	中期	公助	1	生ゴミ処理機の普及、町制度としてPRする		
2			ゴミ減量を学校教育の一環とする			
3			薬物知識の普及			
4			薬物条例の立ち上げ			
5			薬物監視のルール制定			
		協働	1	レジ袋の有料化	2	
			2	環境を守るペットボトル・空き缶の自動処理機の導入		
			3	生ゴミ処理はパッチ式、プラント式の処理		
			4	薬物監視への参加		
中長期	公助	1	ゴミ焼却炉を他町と共有化する			
		2	町の目標の設置、岐阜県 1(クリーン農業、健康、教育、環境と調和の町)			
		3	条例の改定			
		協働	1	生ゴミ発電開発		
			2	住民参加で町ぐるみのISO14001の取得		